

第 2 回検討委員会（2017 年 7 月 24 日開催） 各案の特徴

■：活動スペース ■：鑑賞スペース ■：展示スペース ■：窓口スペース ■：コラボスペース

グループ A	グループ B	グループ C
<ul style="list-style-type: none"> ・ エントランスホールを外部のオープンスペースに面して配置することで、一体的なイベントスペースとして利用できる ・ メインエントランスにカフェが隣接することで、施設の利用者だけでなくカフェ利用者も気軽に施設を訪れることができる ・ メインエントランスとは別の出入口を設置することで、ホール利用者とその他の活動室の利用者との動線を分けることができる ・ 1階に多目的室、2階に会議室を配置することで、にぎやかな空間と落ち着いた空間をフロアごとに分けることができる ・ 多目的室をコラボスペースに面して配置することで、賑やかさを演出することができる ・ 展示スペースをコラボスペースと一体にとすることで、より様々な利用者を展示へと引き込むことができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 大ホールのホワイエをエントランスホールと隣接させることで、大ホール利用者の動線を明快にするとともに、混雑を緩和できる ・ 大・中ホールそれぞれにホワイエを設けることで、各ホール利用者の動線を分離することができる ・ 展示スペースをコラボスペースと一体にとすることで、より様々な利用者を展示へと引き込むことができる ・ 事務室をエントランスに隣接し、利用者の出入りが確認できるのと同時にインフォメーションセンターとして機能することができる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ エントランスホールや和室を外部のオープンスペースに面して配置することで、一体的なイベントスペースとして利用できる ・ メインエントランスにカフェが隣接することで、施設の利用者だけでなくカフェ利用者も気軽に施設を訪れることができる ・ エントランスとホワイエの間にカフェを設けることで、子どもが遊ぶ賑やかな空間と講演の余韻に浸る空間とを分けることができる ・ 大・中ホール間に広いホワイエを設けることで、ホール利用客の混雑を緩和できる ・ 通路と一体の展示スペース及び図書スペースとすることで、より様々な利用者が立ち寄ることが期待できる